令和6年度

事 業 計 画

社会福祉法人 熊野緑会

目次

経営理念・経営方針		3
令和6年度重点施策		4
障害者施設ない	ぎの木園事業計画	6
就労継続支援B型事業	第二なぎの木園事業計画	1 0
放課後等デイサービス	すみれ事業計画	1 1
グループホーム	事業計画	1 2
相談支援ぷらす	事業計画	1 3
業務分担表・年間営業	予定	1 4

経営理念

・利用者、職員、地域社会がお互いに支えあい、共に歩む施設を目指し、地域福祉に貢献します。

経営方針

- ・社会福祉法人 熊野緑会は、経営理念に基づき、以下のとおり経営方針を定めます。
- 1,安心・安全な利用者支援

利用者の方に安心して利用していただく為、一人一人の意向を踏まえた支援を行い、 安全で快適な生活環境を提供します。

2, 気づきの支援

職員は、元気・勇気・根気を旨とし、利用者の方に対し、常に愛情を持ち、気づきの 心できめ細やかなサービス提供を行ないます。

3, 効果的・効率的な施設経営

社会福祉を取り巻く状況の変化に対応し、持ちうる経営資源を有効に活用しながら、 効果的・効率的な事業経営を行い、経営基盤の確立を目指します。

4,経営の透明性

福祉サービスや経営情報の公開を推進し、経営の透明性を確保することにより、利用 者及び地域の方から広い理解と信頼を得られるようにします。

5, 法令遵守・コンプライアンス

理事長を法令遵守責任者として、高い水準のコンプライアンス体制を推進し、この徹底を通じ広く社会からの信頼を確立する。この不徹底が法人経営を揺るがしえる事を 十分に認識し経営の基本原則として位置づける。

令和6年度 重点施策

1, 法人運営と経営機能の強化

- ・時代を担う職員が、法人運営、施設移転計画、経営に携わり自覚と責任をもって業務 に取り組みます。
- ・各事業所のサービス管理責任者を中心に職員全員がチーム一丸となり、事業を運営していきます。

2, なぎの木園の新築移転に向けての準備

・施設を新宮市佐野へ移行するにあたり、ユニット型支援を想定した建物を予定しています。利用者さんにとって完全個室で快適な暮らしの場を提供できるように計画していきます。また、スムーズに移行できるように準備していきます。

3、 感染症及び災害対策の徹底

- ・事業継続計画 (BCP) に基づいて訓練の実施を行い、適切に対応できるように努めます。
- ・感染症対策委員会を設置して、感染症や食中毒の予防対策に努めます。
- ・各関係機関と連携体制の確認を行い、様々な災害や感染症の対策に取り組み訓練 を実施します。

4, 働き方改革を意識した環境整備

- ・定年退職後の職員については、再雇用の受け入れ態勢を整えます。
- ・全職員の年次有給休暇の完全消化をめざし、リフレッシュまたはメンタルヘルスケアを含めた長期有給休暇取得を推奨していきます。
- ・和歌山県人権尊重の社会づくり協定に基づき、個々の事情やライフステージ(女性職員の出産・育児・介護等))に応じた働き方が選択出来るようにします。

5, ICT (情報通信技術) の導入

- ・設備を整え、雇用の創出、人材育成、サービスの向上を図ります。
- ・業務効率の向上及び、業務簡素化を狙いペーパーレスによる経費削減に取り組みます。
- ・情報共有アプリを取り入れ、職員間の連携の強化を図ります。
- ・SNSを適切に使用して法人のPR活動に努めます。

6,職員の資質向上と育成への取り組み

・正規職員の職責を明確にし、各研修を実施します。利用者の人権を守り、虐待防止や 身体拘束の適正化について委員会を主体として、職員間での共有や人材育成に努めま す。また、ハラスメント対策として職員を対象としたメンタルヘルスチェックの実施 を行い、風通しの良い職場作りに励みます。

7, SDGs

・持続可能な社会づくりのため、SDG s が掲げる世界を変える17の目標に取り組んでいきます。

8, 意思決定支援の推進

- ・全職員がそれぞれの役割から利用者に関わり意思決定支援に配慮していきます。
- ・ 意思決定支援に向けて、適切なアセスメント、個別支援計画作成がおこなわれるよう に関係者を組織し包括的な支援体制を整えていきます。

障害者支援施設 なぎの木園 事業計画

基本方針

・経営理念に基づき、利用者の意思決定を尊重し、安全で快適な生活が送れるように努めます。 また、各利用者ニーズに応えられるように個別支援計画を作成し、質の高いサービス提供を行い ます。

重点目標 「施設移転への準備」

新施設へ向けて、業務や支援方法について検討を重ねていきます。デジタル化を進めペーパーレスへ向けた取り組み、ユニットを想定した支援を行うことで安心して生活できるように職員が一致団結してサービス向上に努めます。

安全対策

- 2か月ごとに日中・夜間における災害訓練及び BCP 訓練を計画・実施して災害に対する意識向上を図ります。
- 感染症対策として、手洗い・うがいをはじめ、検温の実施、外出時のマスク着用などその時々に応じた対策を講じます。
- ケガや事故発生時は、保護者・各関係機関に連絡し、迅速かつ丁寧な対応に努めます。
- 車両使用時にはアルコールチェックと車両の事前点検を行い、安全運転に努めます。

日中支援

・心身共に健康な生活が出来るように、適度な運動を日課に取り入れながらも行事や余暇等のイベントにも注力して、その人の生活が豊かで充実したものになるように務めます。

生活支援

・清潔な住環境の整備に努め、快適な生活環境を提供します。定期的なバイタルチェック行い、専門職と協力しながら利用者が健康で安心できる生活を送れるように努めます。

環境整備

・BCP計画を基に各種訓練の実施を行い、防災・防犯意識の向上を図ります。リスクマネジメントでは危険予知トレーニングを取り入れ、事故防止へと繋げます。施設内点検をはじめとした、 各リスク管理に注力して利用者の安全を守ります。 入所状況

令和6年3月31日現在

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	合計
男性	1名	8名	4名	4名	11名	3名	1名	32名
女性	0名	0名	0名	0名	5名	2名	2名	9名
計	1名	8名	4名	4名	16名	5名	3名	41名

通所状況

	30代
男性	2名
合計	2名

栄養支援

栄養給与目標

令和6年4月1日

人数	40	名
----	----	---

人数40名													
年齢	性別	人数	エネルギー	たんぱく質	脂質	カルシウム	鉄	ビタミンA	ビタミンB1	ビタミンB2	ビタミンC	食物繊維	食塩相当量
-T BI	11771	7,50	kcal	g	g	mg	mg	μ gRe	mg	mg	mg	g	g
	男	8	2,300		63.5 (51~76)	800	7.5	850	1.20	1.60	100	21	7.5
18~29	女	0	1,700		47 (38~56)	650	6.5	650	0.90	1.20	100	18	6.5
30~49	男	8	2,300		63.5 (51~76)	750	7.5	900	1.20	1.60	100	21	7.5
3049	女	0	1,750		44.7 (38~57)	650	6.5	700	0.90	1.20	100	18	6.5
50~64	男	12	2,200		60.5 (48~73)	750	7.5	900	1.10	1.60	100	21	7.5
50~04	女	6	1,650		45.5 (36~55)	650	6.5	700	0.90	1.20	100	18	6.5
65~74	男	3	2,050		56.5 (45~68)	750	7.5	850	1.10	1.50	100	20	7.5
0574	女	2	1,550		43 (34~52)	650	6.0	700	0.90	1.20	100	17	6.5
75以上	男	0	1,800	68.0 (58.5~90)	50 (40~60)	700	7.0	800	1.00	1.30	100	20	7.5
7300	女	1	1,400		38.5 (31~46)	600	6.0	650	0.80	1.00	100	17	6.5
	A = ++ :#	40	2,094	78.6	57.7	736	7.2	840	1.09	1.50	100	20	7.3

栄養給与基準量											
	エネルギー	たんぱく質	脂肪	カルシウム	鉄	ビタミンA	ビタミンB1	ビタミンB2	ビタミンC	食物繊維	食塩相当量
	kcal	g	g	mg	mg	μ gRe	mg	mg	mg	g	g
今年度給与基準量	2,094	78.6	57.7	736	7.2	840	1.09	1.50	100	20	7.3
昨年度給与基準量	2,097	78.6	57.7	738	7.2	838	1.11	1.50	100	20	7.3

[・]毎年4月に利用者への嗜好調査を行い、献立に反映します。

医療

医療計画

毎月	嘱託医相談・歯科往診2回・体重・血圧測定・体温測定
4月	利用者健康診断
7月	歯科検診
7月	職員健康診断
11月	インフルエンザ予防接種
12月	夜間従事者健康診断
奇数月	精神科往診
	新型コロナウイルスワクチン接種

医療機関体制

診療科名	病 院 名
神経内科	新宮市立医療センター
脳神経外科	新宮市立医療センター
内科	中山医院
精神科	岩崎病院
整形外科	山口整形外科
眼科	いのき眼科・新宮市立医療センター
歯科	浜口歯科
耳鼻咽喉科	くさち耳鼻咽喉科
皮膚科	土山皮膚科
緊急時	救急車対応

嘱託医及び医療機関体制

施設嘱託医 くさち耳鼻咽喉科クリニック 院長 草地 孝樹

	年間行事計画	
月	行事	ボランティア
4月	ツールド熊野見学 バーベキュー	木ノ川地区清掃
5月	熊野川こいのぼり見学 つくしんぼ歌謡祭り 在園者お楽しみ会	佐野地区清掃
6月	芋植え体験 グランドゴルフ バーベキュー	三輪崎地区清掃
7月	七夕 海水浴	
8月	納涼会 花火 在園者お楽しみ会	
9月	外食 バーベキュー くじら博物館見学	
10月	エイサー太鼓見学 新宮秋まつり ハロウィン	木ノ川地区清掃 ハロウィン慰問
11月	焼き芋大会 日帰り旅行	佐野地区清掃
12月	新東障連スポーツ大会 クリスマス会 イルミネーション見学	
1月	初詣 在園者お楽しみ会	
2月	節分 バレンタイン	
3月	ひな祭り 丹鶴城桜ライトアップ	那智浜清掃

就労継続支援B型 第二なぎの木園 事業計画

基本方針

- ・本人・家族の気持ちや要望に寄り添い、強みを生かし就労に望めるよう個別支援計画の作成から 実行、技術の向上を図り、就労の意識を高めていきます。
- ・利用者が、個々の二一ズに合わせて自己選択・自己決定・自己表現ができるような環境作りを目 指します。

重点目標

- ・商品の品質向上を高め販路の拡大をし、売上げを伸ばして工賃を増やしていきます。
- ・各状況に応じた柔軟な仕事や取り組みの充実を図ります。個別に支援が必要な利用者に対し、 安心して取り組める環境を整えていきます。
- ・利用者個々の就労能力に合わせた作業・アドバイスを行い、新たなステップアップに繋げていき ます。
- ・利用者ミーティングを行い、親睦を図るとともにそれぞれ優しさ・思いやりが持てるよう同じ悩み、体験の共有・共感しあうことで励まし合っていく。そして自己の課題に気づき、その課題の解決する力を引き出していく。

安全対策

- ・日々の作業や活動における安全面の確認を行い、作業や活動に使用する道具や設備を定期的に 点検することで不測の事故を予防します。
- ・体温チェックや血圧測定等の体調管理を行います。同じ体制で作業する方にはストレッチを 促し、健康の維持・増進への取り組みも行います。
- ・引き続き感染症対策の強化を図るとともに、感染症および災害発生時のBCPについては研修や訓練を実施し、非常時における事業所体制を盤石なものとします。

作業売上目標

作業項目	収入	支出	利益	利益率(%)
菓子製造	15, 000, 000	9, 800, 000	5, 200, 000	34. 3%
ジョイント	1, 200, 000	10, 000	1, 190, 000	99. 2%
その他	1, 000, 000	10, 000	990, 000	99. 0%
総計	17, 200, 000	9, 820, 000	7, 380, 000	42. 9%

[※]菓子製造以外の収支は過去のデータを参照にして算出/その他の作業は下請けが多い為支出を抑えていきます。

工賃

・事業収入から、事業に必要な経費を控除した額に相当する金額を、工賃として支払います。また、工賃の水準を高めるよう努めます。

給料支払日 毎月15日 (賞与 年1回(3月))

来年度目標工賃 23,653円

行事・レクリエーション

・体力などの面から長時間の作業は困難であり、午後からは心身の疲れを癒したりするための取り 組みとして必要に応じ、土日等で余暇支援を行います。

月	行 事	予算	月	行 事	予算
4月	歓迎会	10000円	10月	ハロウィン	10000円
5月	つくしんぼ歌謡祭	5000円	12月	クリスマス会・新東障連スポーツ交流会	20000円
7月	外食・お土産店視察		1月	初詣・新年会	5000円
8月	夏祭り	10000円	3月	お疲れ様会	10000円

契約状況 定員25人 登録利用者数32人(男17人・女15人) 2024.3現在

すみれ 事業計画

基本方針

- ・学校や家庭とは違う空間・人・活動を通じて安心と安全、楽しさを味わってもらえる ように子どもの状況に応じた支援を行います。
- ・個々の特性に応じたニーズの把握と、ご家族から発信されるニーズに寄り添った個別 支援計画を作成し、それに基づいたサービスの提供を行います。
- ・家庭や学校など関係機関と連携して成長を見守りお手伝いをしていきます。
- ・地域への積極的な参加と子どもが楽しく遊ぶ、過ごす、学ぶことをテーマとし取り組みます。

重点目標

- ・発達支援、家族支援、地域支援を意識して業務に取り組みます。
- ・こどもたちが自分で気付き判断し取り組む姿勢を大事にします。

安全対策

- ・災害に対する意識をもつ為、月に一度は必ず避難訓練を活動に取り入れ訓練しています。事業所では、年に2回の総合訓練(火災想定)、1回の震災訓練の実施を行います。
- ・ケガ・事故発生時は、保護者・各関係機関に連絡し、迅速かつ丁寧な対応に努めます。 同時にヒヤリハット、事故発生報告書、事例検討を行い再発防止に努めます。
- ・事業継続計画(BCP)をもとに職員に対して訓練を実施し、計画の見直しを行います。

送迎サービス

- ・運転者は、交通ルールやマナー、制限速度を守り、安全運転に努めます。
- ・利用者の心身の状況や環境に応じて、送迎ルートや車両を変更しながら子どもたちの 安心・安全に配慮します。
- ・飲酒チェックの記録を管理します。年に1回、安全運転管理者講習を受け伝達研修を 実施します。

契約状況

	年長	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中 2	中3	高1	高2	高3	合計
男	1	4	2	2	3	5	0	1	0	0	1	4	1	24
女	3	0	2	0	0	0	1	0	0	1	1	0	0	8
計	4	4	4	2	3	5	1	1	0	1	2	4	1	32

[・]新宮市 24名・那智勝浦町 5名・紀宝町 2名 ・御浜町 1名 (2023年3月末現在)

行事計画

月	行事	予算	月	行事	予算
4月	遠足	5000円	10月	ハロウィン・高学年宿泊	5000円
5月	バーベキュー・海中公園	5000円	11月	新庄公園・スポーツ交流会見学	5000円
6月	つくしんぼ歌謡祭見学	5000円	12月	イルミネーション・クリスマス会	5000円
7月	七夕・流しそうめん	5000円	1月	初詣	5000円
8月	納涼会・お祭り参加・円満寺	5000円	2月	節分・お祭り参加(雪まつり)	5000円
9月	お祭り参加・デイキャンプ	5000円	3月	卒業旅行・お花見・新庄公園	5000円

グループホーム 事業計画

基本方針

・障害者の地域移行へ一つの手段として共同生活事業における共同生活住居・サテライト型住居を設置 運営し、法人の理念に基づき入居者一人一人が心安らげる家である事を目指す。また、利用者が安心 して暮らせるように支援を提供し、生活に必要なサポートを行う。高齢化に伴う課題について配慮し ていく。

重点目標

- ・利用者が自己決定を尊重されながら、自分の希望や意向に基づいた生活を送るための支援を提供する。
- ・随時、支援内容の確認と見直しを行うとともに、業務内容の効率化を図る。
- BCP (Business Continuty Plan) 体制を整える。

支援内容

- ・入居者の意思を尊重し、個々の課題や目標を重視して支援をする。
- ・日頃のコミュニケーション及び相談を重視し、入居者との信頼関係を築く。
- ・自立に向けて自ら考え、創造力・判断力を養い自分で決める力を身に付けてもらえるようにサポート する。
- ・月に一回、関係職員が集まり会議をする。
- ・状況に応じて就労先と連携を図り、より良いサービスを心掛ける。
- ・安心・安全に暮らせるように住環境の整備に努める。
- ・保護者との連絡を細やかにし、事故なく安全に帰省できるようにする。

保健衛生

- ・入居者の高齢化が進む中、より一層安心して暮らせるよう日々の体調管理に努め、必要に応じ適切な 医療提供をしていく。
- 健康を維持する為、衛生環境の向上、適切な整容を支援する。
- ・感染症対策(インフルエンザ・新型コロナウイルス等)として、手指消毒及びマスク着用、除菌剤等、 備品の整備を徹底する。
- 定期健康診断の実施。

余暇運動

・利用者の個別ニーズにこたえる活動を取り入れ、生活範囲の拡大や地域住民相互の関わりを支援する 為に、月に1回程度の外出やレクリエーションを継続し、心身のリフレッシュや余暇の充実を図り、 生活基盤の安定に繋げる。

家族との連携

・家族には、定期的にホームでの生活の様子を報告し、安心していただけるように配慮していく。

月	行 事	月	行 事	月	行 事
4月	ドライブ	8月	夏祭り・花火見学	12月	Xmas 会・イルミ見学
5月	大掃除	9月	ボーリング大会	1月	新年会
6月	外食	10月	小旅行	2月	ドライブ
7月	BBQ	11月	ランチ作り	3月	お花見

計画相談支援事業 ぷらす

基本方針

障害の種別を問わず、障害児者自らが望む場所で社会の一員として日常 生活、または社会生活を営むことができるよう、解決すべき課題等を把握 したうえで必要な福祉サービスの利用の支援を行う。利用者の意思及び人格を尊重し、利用者や家族に寄り添い支援を心掛けていく。基幹相談支援センター、 地域生活支援拠点事業所、その他関係機関と連携し、チームアプローチ支援を行う。

事業内容

- (1) 特定相談支援事業
 - 〇計画相談支援
 - サービス利用支援

障害福祉サービス利用者に対して、サービス等利用計画の作成を行い、サービス事業者等 との連絡調整を行う。

- ・継続サービス利用支援 定期的にサービス等の利用状況の確認を行い、モニタリングを行う。
- 基本相談支援全ての障害児者及びその保護者などから社会生活を営む上での相談に応じる。

(2) 障害児相談支援事業

- 〇障害児相談支援
- ・障害児支援利用援助 障害児通所支援利用者に対して、障害児支援利用計画の作成を行い、サービス事業所等と の連絡調整を行う。
- ・継続障害児支援利用援助 定期的に障害児のサービス等の利用状況の確認を行い、モニタリングを行う。

今年度作成予定

契約者数 113人(児童31人 成人82人) 計画作成数 75件(児童34件 成人41件) モニタリング 293件(児童92件 成人201件)

児童	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10 月	11 月	12 月	1月	2月	3月	合計
計画作成	29	1	0	1	0	1	1	0	0	1	0	0	3 4
モニタリング	4	5	27	0	0	28	0	0	27	0	1	0	92

成人	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10 月	11 月	12 月	1月	2月	3月	合計
計画作成	13	0	2	4	0	3	2	3	5	2	6	1	4 1
モニタリング	16	20	2 4	9	17	2 5	11	16	26	6	16	1 5	201

業務分担表(令和6年4月)

法令遵守責任者	大前	コンプライアンス体制を推進し、遵守すべき法令 を周知する	随時
虐待防止責任者	大前	虐待防止啓発、未然防止、研修企画実施	年 1 回
虐待防止マネージャー	大前雄	虐待防止研修実施、虐待防止委員会の実施	年 1 回
苦情解決責任者	大前	苦情解決、再発防止、研修企画実施	随時
苦情受付担当者	大前雄	苦情受付、アンケート実施	年 1 回
人権擁護推進員	大前	人権擁護研修実施、権利擁護啓発	年 1 回
安全管理推進員	中家	衛生管理、感染症対策、安全対策、関連研修実施	年 1 回
非常災害対策推進員	大前雄	災害対策、地域連携計画、関連研修実施	年 1 回
ハラスメント窓口担当者	大前雄	関連研修実施 メンタルヘルスチェックの実施	随時

		_		
責任者: 大前な	ŧ			
		日中	支援班	支援会議
分担	責任者	補佐	内容	報告
行事・地域交流 ボランティア	小山	赤尾奥西	年間行事の計画と実施・地域行事への参加と交流 ボランティア活動の計画と実施 ボランティアの受け入れ対応	随時
日中活動	澤	山内 小谷	日中活動の計画。買い物や外出の計画。	4 半期
		生活	支援班	支援会議
身辺支援・美化	小谷	岡﨑 瀬戸 中原	居室清掃、洗濯、衣類管理、入浴支援等 施設美化活動の計画と実施、職員分担掃除の計画と実施	4半期
自治会	澤	赤阪 阪口 阿部	利用者自治会の運営支援、自治会費の管理等 誕生日会の計画と実施	月
利用受入れ 新規対応	山内	切畑屋 大濱	帰省連絡、長期休暇時の利用調整 新規職員・利用者・実習の受け入れ準備	随時
物品	山内	中地 岸本	日用品の購入、管理	4 半期
医療		中家	利用者、職員の健康管理 通院、投薬管理	随時
		環境	整備班	支援会議
防災・防犯・備蓄	小山	岡正生 湯川	消防計画作成、各訓練の計画と実施 備蓄管理・発電機等の点検・防犯研修の計画と実施	4 半期
車両	赤尾	山本和	公用車の点検と管理・飲酒チェックの強化	月
リスクマネジメント 営繕	赤尾	岡正人 竹本	施設内設備の点検、修繕等。草刈り 危険個所対応・ヒヤリハット、事故対応	月
職員研修	*	前雄	年間研修の計画と管理	随時
総務	大前雄	小山	BCP計画作成・各マニュアルの管理 各業務との連携・職員間の意識統一を図る	随時
広報	赤尾	瀬戸	情報提供・HP・PR活動・SNS管理マニュアル作成	随時
 給食業務		 近松	栄養管理、食品管理、非常食の提供	栄養支援会議

第二なぎの木園 業務分担表 (令和 6年 4月)

	第二なぎの木園	グループホーム		
法令遵守責任者	大前	大前	コンプライアンス体制を推進し、遵守	随時
		7 13.3	すべき法令を周知する。	1,201
虐待防止責任者 虐待防止責任者	大前	大前	虐待防止啓発、未然防止	年1回
72 14 W) 22 K12 G	7 (11)	7 (1)3	研修企画実施	1
虐待防止マネージャー	中峯	中峯	虐待防止研修実施、虐待防止委員会の実施	年1回
苦情受付担当者	千葉•加藤	中峯	苦情受付、アンケート実施	随時
苦情解決責任者	大前	大前	苦情解決、再発防止、研修企画実施	年1回
人権擁護推進員	大前	大前	人権擁護研修実施、権利擁護啓発	年1回
112722222	7 41.7	7 133		
安全管理推進員	加藤	中峯	衛生管理、感染症対策、安全対策	年1回
X=1 1;ECX			関連研修実施	
非常災害対策推進員	千葉	中峯	災害対策、地域連携計画	年1回
7.11.人口7.7.11.12.0.0	- *	, =	関連研修実施	, , ,
 ハラスメント窓口担当者	千葉•加藤	中峯	関連研修実施	随時
	1 / Nu//*	1.4	メンタルヘルスチェックの実施	PAZE H1]

			環境	竟整備班	王(加藤)			
 分担	第二なる	ぎの木園	グルース	プホーム	内容	報告		
万担	責任者	補佐	責任者	補佐	內谷	報 古		
職員研修		l藤 ·葉	中	峯	年間研修計画の実施と管理	随時		
リスクマネジメント 営繕	佐々木	田中 西(か)	小西	岡	事故対応・施設内設備の点検と修繕・施設内設備 の点検、修繕、業者依頼等	月		
防災・防犯・備蓄	貝崎	山本 鈴木瑠	小西	岡	消防計画作成、各訓練の計画と実施 備蓄管理・発電機等の点検・防犯研修の計画と実施	4半期		
車両	佐々木	田中 山本	小西	岡	公用車の点検と管理・飲酒チェックの強化	月		
美化	新職員	鈴木瑠 西(か)	小西	岡	施設美化活動の計画と実施 職員分担掃除の計画と実施	4半期		
物品	鈴木(利)	森岡 小鷺	小西	岡	日用品の購入・管理	4半期		
			地址	或活動班	·····································			
総務	千 加藤	·葉 (剛)	中	峯	BCP計画の作成・各マニュアルの管理 各業務との連携・職員間の意識統一を図る	随時		
地域交流・行事 ボランティア	新職員	加藤(歩) 堀口	小西	岡	年間行事の計画と実施・地域行事への参加と 交流・ボランティア活動の計画と実施 ボランティアの受け入れ対応	行事単		
広報	西(芙)	加藤(歩) 堀口	小西	岡	情報提供・HP・PR活動・SNS管理マニュアル作成	4半期		
新規·実習	貝﨑	小西	岡	新規職員、利用者、実習	随時			
余暇			小西	岡	余暇活動の計画と実施	随時		

令和6年度 職員研修一覧表

研修名	内容	実が	拖 者	- 対 象 者	開催予定
一	ny 台	なぎの木園	第二なぎの木園	列 家 有	用惟了处
職員研修	職員の資質向上を目的とする 交換研修の実施	大前(雄)	加藤・千葉	当日勤務者	随時
新人研修	法人・虐待防止・権利擁護制度 事業所の業務内容についての説明	大前(雄)	加藤・千葉	新人職員	随時(1ヶ月以内)
非常災害 対策研修	外部講師(新宮市防災対策課職員)	大前(雄)	千葉	当日勤務者	年1回 5月
防災研修	総合訓練及び外部講師(消防職員)	小山	貝﨑	当日勤務者	年2回 6月・11月
リスクマネジ メント研修	ヒヤリハット及び支援事故報告 事例検討・再発防止	赤尾	佐々木	当日勤務者	年1回 7月
人権・権利 擁護研修	人権意識や知識及びスキルの 向上を目的とする	贱	千葉	当日勤務者	年1回 10月
防犯研修	外部講師(警察署員)	赤尾	貝﨑	当日勤務者	年1回 11月
安全管理研修	衛生管理・感染症対策・交通安全 等の安全管理に関わる外部講師	中家・山内	加藤	当日勤務者	年2回 11月
ハラスメ ント研修	職員の意識向上を目的とする メンタルヘルスチェックの実施	小山	小西	当日勤務者	年1回 12月
	癲癇研修	小谷	新職員		
継続(伝達) 研修	成年後見制度について	小山	鈴木(利)	当日勤務者	外部研修終了後 伝達研修実施
	新東障連研修	澤	西(芙)		
虐待防止研修	虐待防止・不適切支援の根絶を 目的とする	大前(雄)	加藤・千葉	全職員	年1回 3月

2 米 2 井 3 品 4 日 日 6 米 6 米 6 米 6 米 6 米 6 米 6 米 6 米 6 米	月 火 木 金 士 目 月 火 木 金 士 目 月 火	金 + m 月 八 水 木 金 + m 月 月 火 米 木 金 + m m m	火 * * * * * * * * * * * * * * * * * * *	
朱 衛 十 🗆			十 二	3 十 4 日 4 日 4 日 4 日 6 次 6 次 9 節 9 節 10 十 11 日 11 日 12 月 13 次 13 次 15 未 17 十 17 十 17 十 18 日 18 日 18 日 18 日
4 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	* * * * * * * * * * * * * * * * * * *		4 日	4 目 4 目 4 日 4 日 5 日 6 次 7 米 9 份 11 日 11 日 12 月 12 月 1 日 1 日 1 日
± 2	* 金 *		日 大 米 米 4 日 日 0	13 13 14 15 16 17 17 17 18 18 18 18 18
9	金 士 目 月 火 木 金 士 日 月 火		火水 朱金 士 日 月 火 木 金 士 日	1 1
	士 日 月 火 氷 木 金 士 日 月 火		水 木 金 土 目 月 火 水 末 金 土 日	1
7 月 7 木	□ □ √ × × ≈ ≈ ≈ × × ≈ × ≈ × × × × × × × × ×		米金士目月火水木金士 回	1
8 8	月 火 木 本 土 目 月 火	9 01 11 12 13 13 14 14 15 15 15 15 15 15 15 15 15 15 15 15 15	金 士 目 月 火 木 本 金 士 日	ス ・
	火 木 金 士 目 月 火	01 12 13 13 14 15 15 15 15 15 15 15 15 15 15 15 15 15	士 日 月 火 水 未 金 士 日	10
10 未 10 目	・ 株 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・		日月火水木金土日	## 11 日 13 火 13 火 16 前 17 十 17 十 17 十 17 十 17 十 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 1
4	未 個 出 田 民 次 7 6 7 6 7 7 10 10 10		正	12 月 13 火 11 14 水 以 16 的 水 17 十 18 日 オ
12 土 12 火	# # # # # # # # # # # # # # # # # # #		火 木 金 士 目	13 火 月 14 水 水 17 井 木 17 井
13 円 13 水	14 15 15 16 17 17 17 17 17 17 17		* * * * * * * * * * * * * * * * * * *	14 米 15 本 16 的 17 十 17 十 17 十
14 月 14 木	15 16 17		** 4 十 1	月 15 本 15 火 16 争 16 水 17 土 17 素 18 18
15 火 15 金	16		金 十 17 日 18	火 16 金 水 17 土 木
16 水 116 土	17		+1 Ⅲ	次 17 土 末
+		1 .	В	18 H
18 金 18 月	十 18			2
19 土 19 火	₩	_ '	月	19 金 19 月 19
20	徘		20 次 50	
21 月 21 木	Ŧ		21 冰 21	
22 火 22 金	22		22 木	
大 23	Я 23	0	23 金 23	
ĸ	火 24		+	
金 25	水 25		Ш	木 25 日
26 土 26 火	₩	(26 月 26	
27 目 27 水	金 27 1		火 27	27
28 月 28 木	± 28 ∫		* 28	28 水 28
29 火 29 金	B 29 ;		59 ↑ 59	
30 米 30 土	30万	0	₩	
31 ★	31.7		31 ±	31 水 31 土
23 22	22		23	23 23

休業日	3月	+	ш	月		¥	*	₩	Н	Ш) 月	* -		*	- 金 公議	5 ±) B	7 月	3. X	7 米		₩	2 土 お疲れ様会	3 日	日 +	٠ ×	关	+	8 金	+ 0) E	月	23	269日
海 第 日	2月	+	: B 2	3 月 3	4 火 4	5 水 5	9 * 9	7 金 7	8 # 8	6 🗏 6	10 月 10	11 火 11	12 水 12	13 🛧	14 金 会議 14	15 土 15	16 日 16	17 月 17	18 火 18	19 水 19	₭	21 金 21	22 ± 22	23 日 23	24 月 24	25 火 25	26 水 26	27 * 27	28 金 28	53	30	31	20	年間営業日数 26
	1月	十 十	2 *	3 静	4 ± 4	5 B	6 月		8 水 8	₩ 6	10 金 1	11 土 余議		13 月 1	14 火	15 水	16 未	17 金 1	18 土 新年会 1	19 🗎		21 火 2	22 水 2	23 木 2	24 金 2	25 ± 2	16 ⊟ 2	27 月 2	28 火 2	29 水	30 ★	31 金	23	年間
	12月	1 🖪	2 月	3 ½	4 水	5 *	毎 9		8 日	9 月	10 火	11 米		13 金 1	14 土 会議 1	15 日 1	16 月 1	17 火 1	18 水	19 未		21 土 クリスマス会 2	22 日 2	23 月 2	×	25 水 2	26 木	27 金 2	28 ±	ш	30 月 3	31 火 3	23	
	11月	44	2 ±	3 ⊞	4 月	5 火	6 水	7 *	8 4	十 6	В	11 月	12 火	13 水	14 米	15 金 会議	16 土 スポーツ交流会	17 B	18 月	19 火		21 木	22 金		Ш	25 月	26 火	27 水	28 木	29 金	30 ±		22	
	10月	- ب	2 水	₩ ε	4 条	5 ±	₽ 9	7 月	8 火	9 水	10 *	4 年		13 日	14 月	15 火	16 水	17 *	18 金 余議	19 #		21 月	22 火		₭	25 金	26 ±		28 月			31 未	23	
ノダー	9月	1 目	2 月	3 X	4 米	5 *	年 9		8 日	9 月	10 火	11 水	12 木	13 金	14 土 会議	15 日	16 月	17 火	18 水	19 未		21 ±	22 H	23 月		25 水	26 木	27 金	28 ±		30 月		22	
年間営業カレンダ	8月	+	2 金	3 ±	4 B	5 月	水 9		* 8	0 他	10 ±	11 B	12 月	13 火	14 水	15 木	16 金	17 ±	18 日	19 月	20 火	21 水	22 *	23 金	24 土 会議	25 日	26 月	27 火	28 水	29 木	30 金	31 土 夏祭り	23	
第二なぎの木園 4	7月	1 月	2 火	3 米	* *	5 余	# 9	7 目	8 月	分 6	10 水	+ 1	12 金 会議	13 土	14 B	15 月	16 火	17 水	18 🛧	19 金	20 土	21 目	22 月	23 火	24 水	25 ★	26 金	27 ±	28 日	29 月	30 火	31 水	23	
第二な	6月	1 H	2 日	3 月	4 ×	5 水	₩ 9	7 金	8 H	8 ⊟	10 月	11 火	12 水	13 🛧	14 金	15 土 会議	16 日	17 月	18 火	19 水	20 米	21 金	22 ±		24 月	25 火	26 水	27 木	28 金	29 土 外食	30 日		22	
	5月	1 水	2 *	3 徐	4 ±	5 B	6 月	7 火	8 水	₩ 6	10 金	11 土 会議	12 日	13 月	14 火	15 水	16 木	17 金	18 土	19 日	20 月	21 火	22 水	23 ★	24 金	25 土つくしんぼ	26 日	27 月	28 火	29 水	30 ★	31 金	23	
2024年	4月	1 月	2 火	3 水	₹	5 争	+ 9	7 B	8 月	分 6	10 水	+ =	12 金	13 ±	14 B	15 月	16 火	17 水	+ 81	19 金 弁職	20 土	21 日	22 月	23 火	25 水	25 木	26 金	27 ±	28 日	29 月	30 火		22	

2024年	111	lo,	すみれ 年間営業力	営業カレンダー						党業日	休業日
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1 月	1 水	1 +	1 月	+	Ш	1 火	金	1 B	1 水	+ 1	+ +
2 火	2 *	2 B	2 火	2 金	2 月	2 水	2 ±	2 月	2 *	2 日	2 日
3 米	る	3 月	3 米	3 #	3 火	8 +	3 ⊞	3 次	3 争	3 月	3 月
4	4 H	4 火	4	4 B	4 水	4	4 月	4 米	4 ±	4 火	4 火
5 争	5 ⊟	5 水	5 争	5 月	5 *	5 ±	2 米	5 X	5 ⊟	5 水	5 水
# 9	6 月	₩ 9	Ŧ 9	※ 9	金 争	目 9	6 水	6 金	6 月	₩ 9	₩ 9
7 🗎	7 火	7 金	7 🗎	7 水		1					
8 月	8 米	± 8	8 月	*	8 目	8 火	8 争	8 日	8 水	8 ±	8 ±
7 6	₭ 6	□ 6	分 6	每 6	9 月	9 水	+ 6	9 月	₩ 6	⊟ 6	8 ⊞
10 水	10 金	10 月	10 水	10 ±	10 火	10 *	10 日	10 火	10 金	10 月	10 月
+	# =	11 火	+ 1	11 B	11 米	二 年	11 月	11 米	11 #	11 火	1 ½
12 金	12 日	12 水	12 金	12 月	12 *	12 土	12 火	12 *	12 日	12 水	12 水
13 ±	13 月	13 🛧	13 ±	13 火	13 金	13 日	13 水	13 金	13 月	13 🛧	13 未
14 日	14 火	14 金	14 日	14 水	14 土	14 月	14 木	14 ±	14 火	14 金	14 金
15 月	15 水	15 ±	15 月	15 木	15 日	15 火	15 金	15 日	15 水	15 ±	15 土
16 火	16 🛧	16 日	16 火	16 金	16 月	16 水	丁 91	16 月	16 ★	16 日	
17 水	17 金	17 月	17 水	17 ±	17 火	17 *	17 日	17 火	17 金	月 月	17 月
₩ 81	18 ±	18 火	+ 81	18 日	18 水	18 余	18 月	18 水	18 ±	18 火	18 火
19 金	19 日	19 米	19 余	19 月	+ 61	19 十	19 火	₩ 61	19 日	19 水	19 水
20 ±	20 月	20 ⊁	20 ±	20 火	20 金		20 米	20 金	20 月	20 ★	20 ★
21 日	21 火	21 金	21 日	21 水	21 土	21 月	21 *	21 ±	21 火	21 金	
22 月	22 水	22 ±	22 月	22 ★	22 H	22 火	22 金	22 B	22 水	22 ±	22 ±
23 火	23 ★	23 ⊟	23 火	23 金	23 月	23 水		23 月	23 ★	23 日	23 日
25 水	24 金	24 月	24 水	24 土	24 火	24 木	24 日	24 火	24 金	24 月	24 月
25 ★	25 ±	25 火	25 ★	25 H	25 水	25 金			25 ±	25 火	25 火
26 金	26 ⊟	26 水	26 金	26 月	26 木	26 ±	26 火	26 ★	26 ⊟	26 水	26 水
27 ±	27 月	27 木	27 ±	27 火	27 金	27 日	27 水	27 金	27 月	27 *	27 木
28 日	28 火	28 金	28 日	28 水	28 土	28 月	28 ★	28 ±	28 火	28 金	28 金
29 月	29 水	29 土	29 月	29 ★	29 日	29 火	29 金	29 日	29 水		29 ±
30 火	30 ⊁	30 ⊟	30 火	30 金	30 月	30 米	30 ∓	30 月	30 ★		30 日
	31 金		31 水	31 ±		31 🛧			31 金		31 月
24	23	23	24	20	23	24	23	23	23	23	23
									年		276B